

スクラム東北ライドGO釜石 無事完走しました!!

2017年9月20日

スクラム東北ライドGO釜石2017を御支援いただいたみなさまへ

2年後に迫ったラグビーワールドカップの釜石開催を東北全体で盛り上げる「スクラム東北ライドGO釜石2017」は、9月15日から18日までの4日間にわたって開催。9月15日に釜石入りし、16日朝に釜石から走行スタート。台風による日程変更もありましたが、18日午後、無事事故もなく福島県南相馬市にゴールいたしました。

御支援いただいた皆様に、心より感謝いたします。

今回は、過去2回とは逆に、釜石市からスタートして南下するコースで実施。

釜石入りした15日には、釜石のラグビー関係者、町作り関係者、ニュージーランドへの被災地交流やワールドカップの視察に派遣され、2019年ワールドカップでボランティアとして働こうと頑張っている中高生たちとも交流する機会をいただき、とても幸せな時間を持つことができました。



翌16日には、建設が本格化したワールドカップスタジアムの目の前にある釜石東中学校の生徒に見送られてライドをスタート。大船渡市、陸前高田市を経て気仙沼市まで、アップダウンの激しい道を90キロを走行しました。途中の陸前高田市では、嵩上げされた土地に新設された多目的モール「アバッセたかた」で、釜石市出身のシンガーソングライター、あんべ光俊さんがミニライブを行っていて、ステージで私たちのチャレンジを紹介していただきました。また、気仙沼到着後は気仙沼のラグビー関係のみなさまと貴重な交流、情報交換の機会をいただきました。



17日は、約4000人のサイクリストが東北に集結する「ツール・ド・東北」の気仙沼から石巻まで100キロを走るコースを走破。気仙沼市のスタート地点では、これまでスクラム釜石イベントでもお世話になっていた気仙沼出身の佐藤千晶さんが司会を務められていて、ご配慮をいただきワールドカップ釜石開催をPRすることができました。



途中、南三陸町では、防災庁舎で津波に襲われながら生還し、町の再建に尽力している町職員の方に当時とその後のことを伺う機会をいただき、多くの小学生が亡くなった石巻市の大川小学校跡でも黙祷を捧げました。また、サポートスタッフはツール・ド・東北にボランティアで参加。エイドステーションで、全国から集ったライダーたちに釜石ワールドカップ開催をアピールしながら、ボランティアの働き、大会運営を学ばせていただきました。到着後は、ワールドカップのキャンプ地誘致を目指す石巻のラグビー関係の皆様と交流する時間をいただきました。



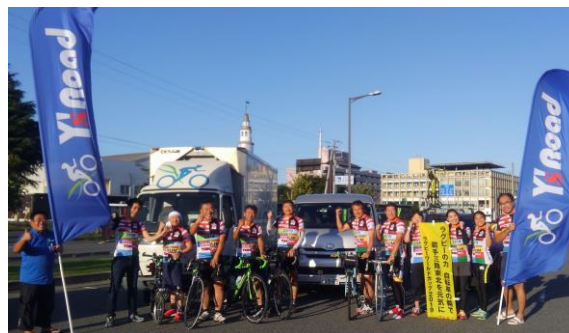
18日は台風18号の通過に伴い宮城県全域に暴風警報が出されていたため、日程を変更。伴走車で移動しながら、これまでは訪れる機会がなかった石巻市の日和山公園、仙台市の荒浜小学校跡を訪ね、東日本大震災の被災地の広がりや改めて学ぶことができました。3年連続で訪れた名取市の閑上では、年を重ねる毎に変化する道路、嵩上げされた土地にさまざまな建物が再建される様子を目の当たりにしました。



宮城県は残念ながら全域に終日、警報が出ていて走行を断念しましたが、警報が解除された福島に入ってから南相馬市までは自転車を出して走行。過去2年はスタート地点だった南相馬道の駅にたくさんの方が集まってくださった中、午後3時20分、無事、事故もなく全員でゴールすることができました。



2019年ラグビーワールドカップの釜石開催決定を受け、このビッグイベントを東北全体の復興への契機につなげましょう！とアピールするために立ち上げて以来、3回目の開催となった「スクラム東北ライドGO釜石」。今回も、たくさんの方の御支援をいただき、たくさんの出会いに恵まれ、東北の美しい景色と復興の様子を目に焼き付けながら、たくさんの方に、釜石開催のみならず2019年ラグビーワールドカップの盛り上げをアピールすることができたと思います。末筆ながら、秋の東北の素晴らしい味覚も堪能いたしましたことを告白いたします。みなさまも、2年後の釜石でのワールドカップをはじめ、東北へぜひとも足をお運びいただければと思います。



御協力、御支援いただいた皆様に深く感謝いたします。とともに、今後とも、NPO法人スクラム釜石の事業、そして東北の復興応援へ御協力を賜りますよう、心よりお願い申し上げます。

NPO法人スクラム釜石 代表 石山次郎